

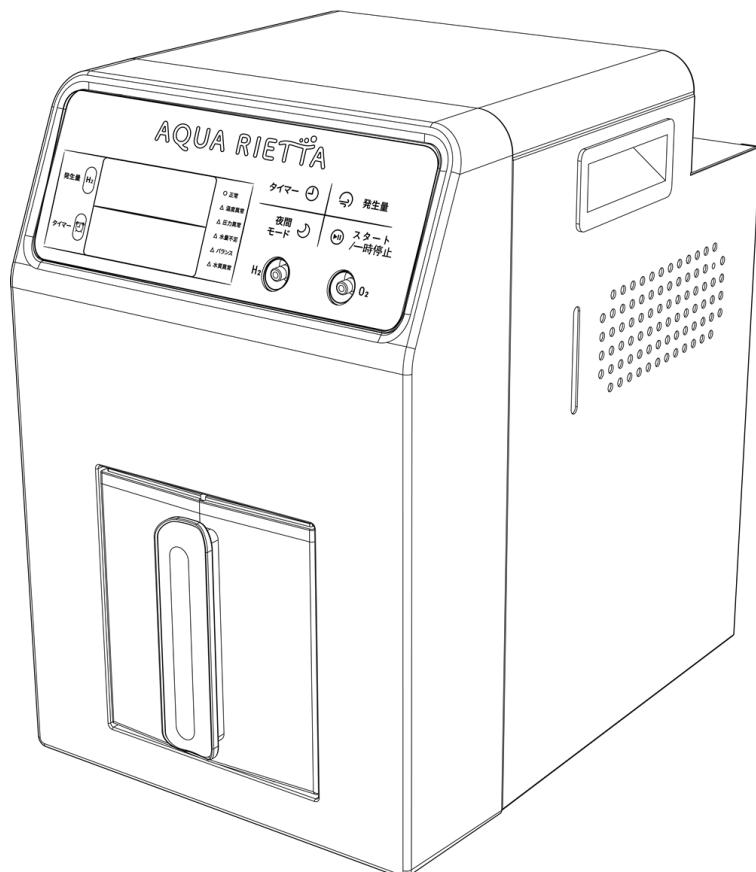
取扱説明書

水素吸入器

AQUA RIETTA

AQY2000

Made in Japan



株式会社
CNB医薬研究所
息苦しさを、心地よさに

目次

1 主な機能と特徴	3
2 安全上のご注意	4
3 ご使用上のお願い	5
4 各部の名称	6
5 ご使用前の準備	8
6 ご使用方法	10
7 補充・交換の時期	12
8 お手入れ方法	13
9 こんなときは	14
10 仕様	15
お問い合わせ	15

- ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいよう
お願い申し上げます。
- 本取扱説明書を製品の近くに保管し、いつでもご活用できるようにしてください。



ご注意

最初のご使用前に以下の準備を行ってください。

電源を入れずに、精製水※1を満水まで入れて **12時間以上** 放置してください。※2

※1 必ず精製水をご使用ください。

※2 2ヶ月以上ご使用にならなかった場合、再度上記の準備を行ってください。

1 主な機能と特徴

○最高純度の水素体験

99.9%を超える最高純度の水素体験を提供いたします。

○大量の水素発生量

最大水素発生量は、1分当たり2000mL±10%です。

1分当たり発生量は、300mL、600mL、1000mL、2000mLを選ぶことができます。

○水素だけでなく酸素も吸入可能

接続口が2口の専用チューブを使用することで水素酸素の混合吸入ができます。発生する酸素発生量は水素発生量の50%となり、2000mL/分の水素量での酸素発生量は、1分当たり1000mL±10%です。

○コンパクトサイズで持ち運び簡単

場所をとらないサイズで重量はわずか11kg(本体のみ)。

寝室やリビングルームなど、どこにでも簡単に持ち運び設置することができます。

○安全装置付きで安心

本体の転倒、過度な発熱などが発生した場合は自動停止し、事故を防ぎます。

2

安全上のご注意

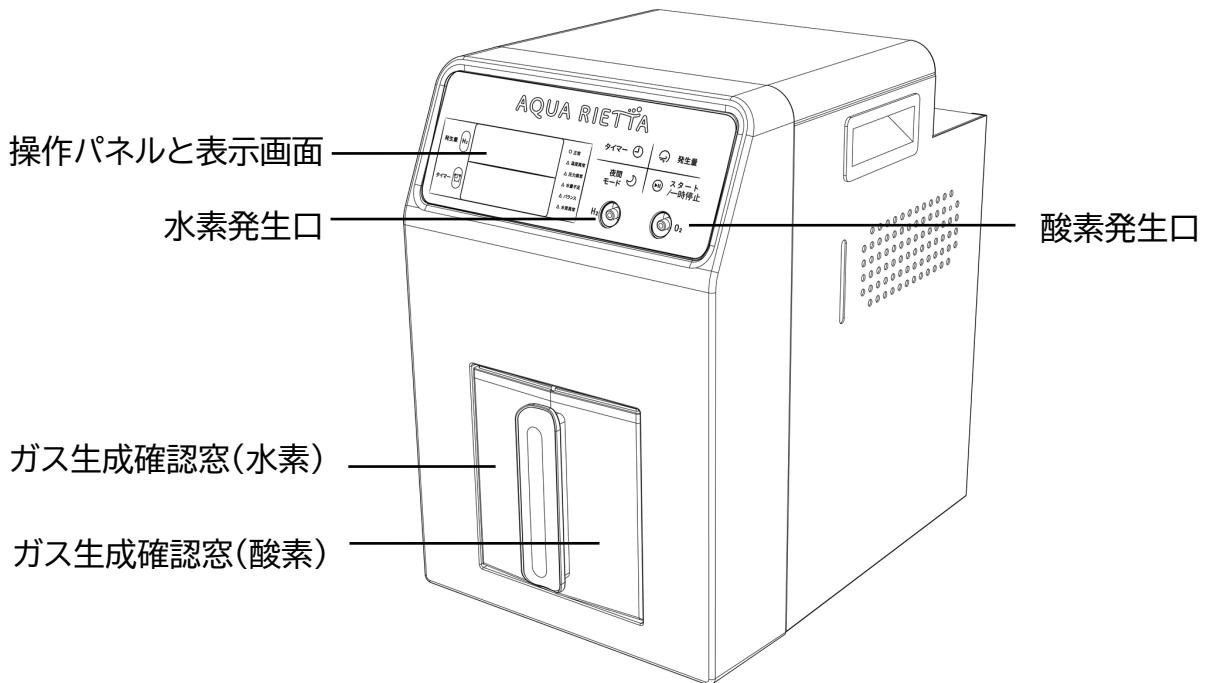
	警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
 火気厳禁	火気厳禁。水素は熱によって膨張し、わずかな火気でも燃焼しやすく、可燃性ガスと混合すると燃焼・爆発を起こしやすくなるためです。
 必ず守る	本製品の使用中または使用後に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、医師にご相談ください。
	注意 傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容
 必ず守る	換気の良い場所でご使用ください。本体の後部には冷却ファンが内蔵されています。他の物に接触しないように設置してください。
 必ず守る	本製品の表面が濡れた場合は、拭き取ってから再び電源を入れてください。
 必ず守る	本体が転倒したり衝撃を受けたりした場合や、設置場所が不安定な場合には、安全装置が作動し、ピーというエラー音とともに、自動的に停止します。正しく設置し直してから運転を再開してください。
 必ず守る	異常を検出したときには、表示画面のランプが点灯します。 13ページ「9 こんなときは」に記載されている通りに問題を解決してから、ご使用を再開してください。問題を解決できない場合は、販売店にご連絡ください。
 必ず守る	お子様が本製品をご使用される場合には、必ず大人の方の補助と付き添いのもとでご使用ください。
 必ず守る	チューブ類の末端はしっかりと挿し込んでください。 チューブがしっかりと接続されていないと、水素が漏れてしまいます。

3 ご使用上のお願い

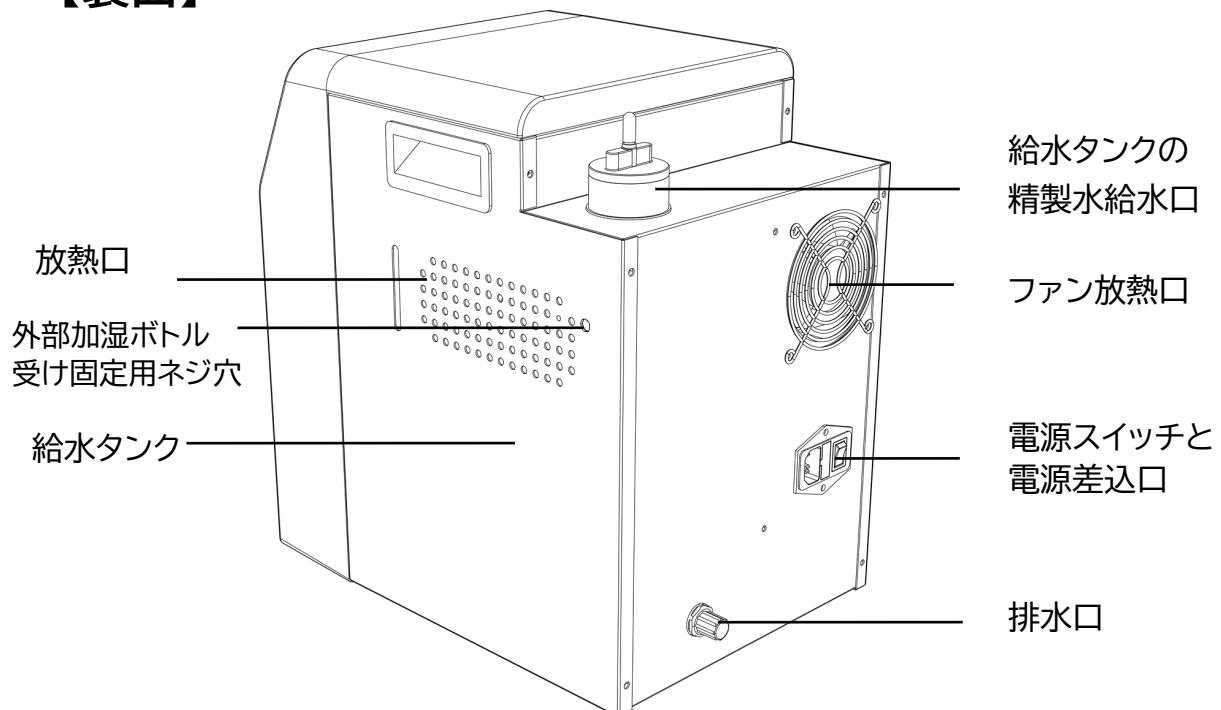
- 1 必ず日本薬局方の表示のある精製水をご使用ください。
他の水(ミネラルウォーターなど)を入れると、表示画面の「水質異常」ランプが点灯しエラーになります。
- 2 電解槽が正常に作動するためには、最低でも1,300mL程度の精製水が必要です。これより下回ると、表示画面の「水量不足」ランプが点灯し、エラーになります。
また、水量の上限は給水口面の約1cm下(2500mL程度)です。
上記の下限と上限の間の水量でご使用ください。
- 3 本体前面のガス生成確認窓の精製水は満杯になる前に捨ててください。
満杯の状態で利用すると、ノーズチューブに水が逆流することがあります。
- 4 チューブ類(ノーズチューブ、酸素水素混合管、連結チューブ)は、衛生上、1~2か月ごとに交換ください。使用頻度が高い方は、1か月での交換をお勧めします。
- 5 チューブ類(ノーズチューブ、酸素水素混合管、連結チューブ)は、内部と外部の温度差により内部が結露することがありますが、異常ではありません。
チューブを軽く振るか、市販の空気ポンプを使って水滴を取り除くことができます。
- 6 お買い上げ直後のチューブ類(ノーズチューブ、酸素水素混合管、連結チューブ)は、固く挿しづらいときがありますが故障ではありません。
- 7 持ち運ぶときには、給水タンク内の精製水がこぼれないよう本体が垂直な状態でお持ち運びください。
- 8 運送するときは、必ず給水タンク内の精製水を排水してください。
- 9 運転直後、給水タンク内の精製水は高温のため、排水は必ず運転停止後30分以上たってから行ってください。

4 各部の名称

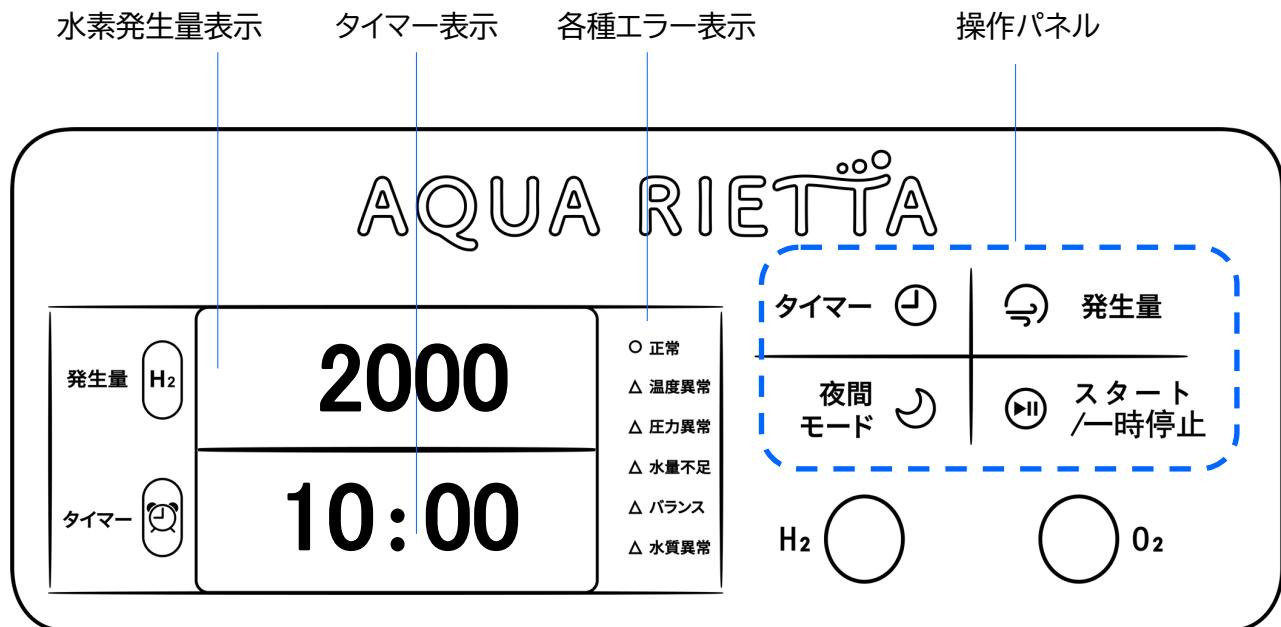
【正面】



【裏面】

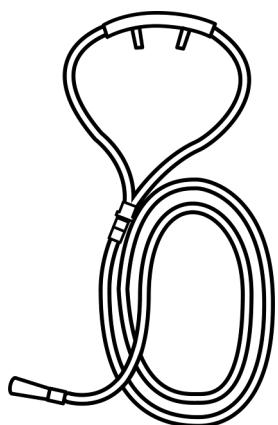


表示画面と操作パネル

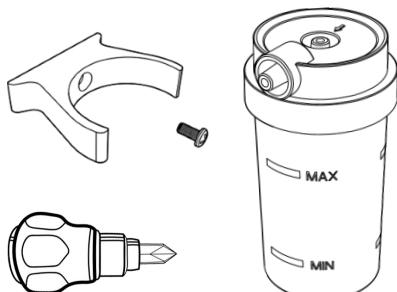


添付品

ノーズチューブ



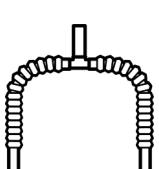
外部加湿ボトル、
加湿ボトル受け、
取付用ドライバー



本書



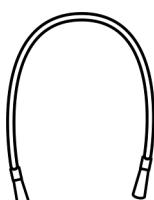
酸素水素混合管



電源コード



連結チューブ



5 ご使用前の準備

メモ

通常、新しく届いた製品の本体内、またはガス生成確認窓に、精製水が少量残っていることがあります。これは不具合ではありません。機械を保護するために必要な水分です。

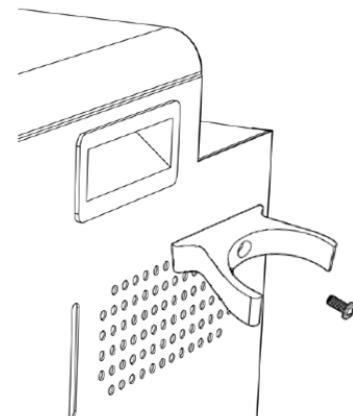
最初のご使用前に、電源を入れずに精製水を満水まで入れて**12時間以上**放置してください。

1. 外部加湿ボトル受けを本体に装着する

プラスドライバー(付属品ご使用)で外部加湿ボトル受けを本体の正面からみて右後方に装着します。

注意！

外部加湿ボトル受けの固定用のネジ穴は一番後方にある穴です。放熱口の穴と間違えないようご注意ください。

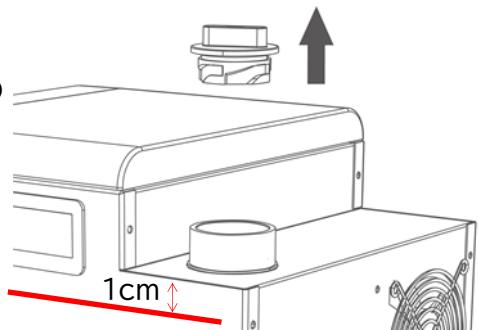


2. 本体の給水タンクに精製水を給水する

給水口のフタを反時計回りに回して開けます。

精製水を給水します。

水量の上限は給水タンク上面の約1cm下です。



メモ

連続10時間運転したい場合、最大2500mL程度(給水タンク上面の約1cm下まで)を給水してください。

注意！

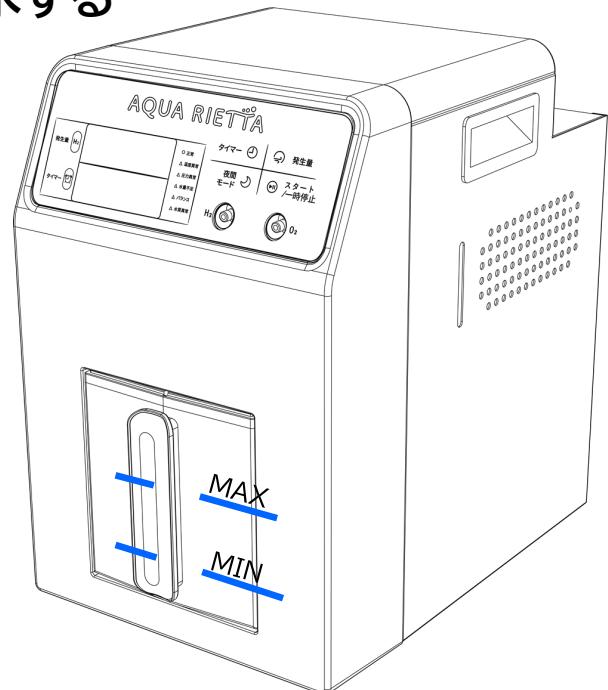
- 酸素が逃げないように、給水後、必ず「精製水給水口」のフタをしっかりと閉めてください。
- 必ず精製水をご使用ください。他の水(ミネラルウォーターなど)を入れると、表示画面の「水質異常」ランプが点灯し、エラーになります。
- 電解槽が正常に作動するためには、最低でも1,300mL程度の精製水が必要です。これより下回ると、表示画面の「水量不足」ランプが点灯し、エラーになります。
- 精製水不足になると、本機の運転ができなくなります。余裕を持って事前に補充用の精製水をご用意ください。

3. ガス生成確認窓に精製水を給水する

本体正面のガス生成確認窓を取り外し、上部のゴムキャップを開け、左右の注入口から精製水をそれぞれ「MAX」ラインと「MIN」ラインの間の高さまで注入します。

ゴムキャップを閉め、ガス生成確認窓を本体に戻します。

- * 運転中はここで水素と酸素の生成を気泡の発生によって確認できます。



注意！

給水後は、ガスが逃げないよう、ガス生成確認窓を元の場所にしっかりと設置してください。

4. 外部加湿ボトルに精製水を給水する

外部加湿ボトルの蓋を外し、精製水を「MAX」ラインと「MIN」ラインの間の高さまで注入します。

- * ガスの温度・湿度を調整するために使用されています。



メモ

運転中、ガス生成確認窓や外部加湿ボトルの精製水が減ったり、または増えたりすることがあります。これは不具合ではありません。

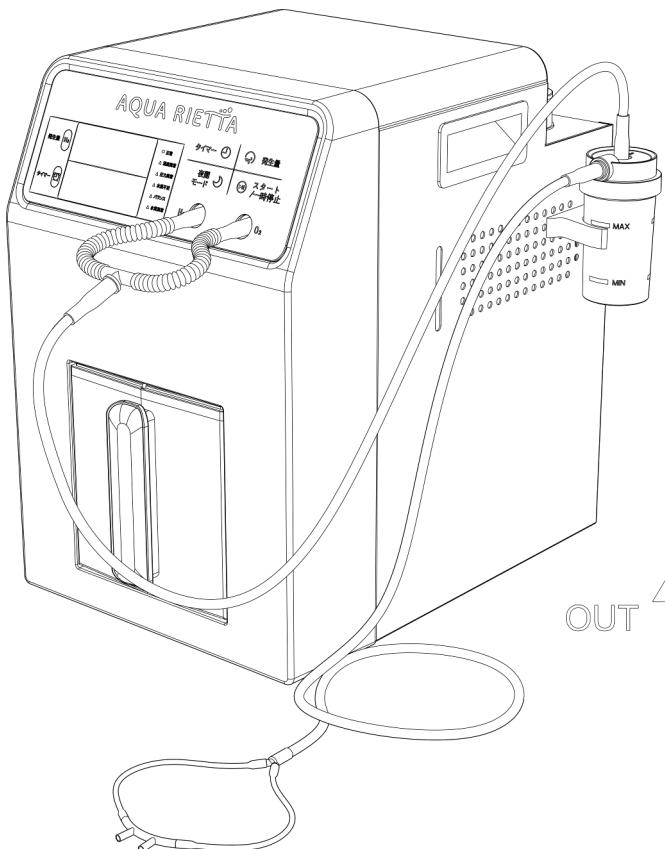
水位を「MAX」ラインと「MIN」ラインの間に保つよう、精製水を補充または排出してください。

5. 電源コードを接続する

電源コードを本体の電源差込口と電源に接続します。

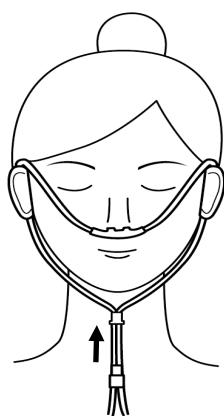
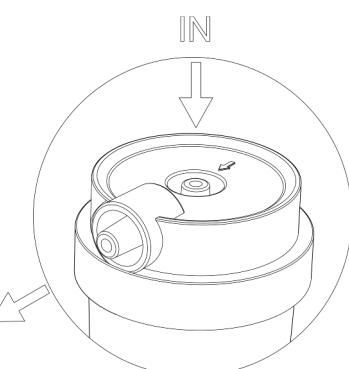
6 ご使用方法

1. ノーズチューブを接続する



- 酸素水素混合管を本体の水素と酸素発生口に、もう片方を連結チューブに接続します。
- 外部加湿ボトルの「IN」に連結チューブ、「OUT」にノーズチューブを接続します。

ノーズチューブを耳にかける



あごの下でストッパーを上げて調節します。

注意！ AQY2000では大量の水素が発生します。2000mL/分の発生量では、酸素の取り込み不足を防ぐため水素・酸素混合吸入を推奨しております。

2. 電源をオンにする

本体裏面にある電源スイッチ(電源差込口の隣)を押してオンにしてください。

注意！ 給水タンク内精製水不足の状態で電源をオンにすると、「水量不足」のエラー表示が点灯します。その場合、給水後エラー状態をリセットするため、「スタート/一時停止」ボタンを3秒間長押し下さい。

3. 水素発生量を調整する

操作パネルの「発生量」ボタンに軽くタッチして水素の発生量を調整します。

「発生量」ボタンに繰り返しタッチすると、 $300\text{mL} \rightarrow 600\text{mL} \rightarrow 1000\text{mL} \rightarrow 2000\text{mL}$ と順に切り替わります。

4. タイマーを設定する

タイマーの初期設定は1時間です。

タイマーをセットするときは、「タイマー」ボタンに繰り返しタッチすると、15分→30分→1時間→2時間→4時間→8時間→10時間と順に切り替わります。

5. 本体を起動させる

操作パネルにある「スタート/一時停止」ボタンに軽くタッチすると本体が起動します。

6. 一時停止、または完全停止

「スタート/一時停止」ボタンに軽くタッチすると、本体が一時停止します。

再開したい場合は、もう一度「スタート/一時停止」ボタンに軽くタッチしてください。

「スタート/一時停止」を3秒以上長押しすると、完全停止します。



発生量の調整は、一時停止または完全停止モードのみで可能です。

これは、電解槽を保護するためです。



7. 途中で夜間モードに切り替えたい場合

「夜間モード」ボタンにタッチすると、本体とパネルの照明が消え、夜間モードに入ります(ガスの生成は通常通り行われます)。

通常に戻したい場合は、もう一度「夜間モード」ボタンに軽くタッチしてください。

8. 電源をオフにする

一時停止または完全停止した上で、裏面のスイッチを押して電源をオフにしてください。



電源を切る、または電源ケーブルを抜いた直後は、十数秒間本機が点灯を続けますが、故障ではありません。

7 補充・交換の時期

品名		時期	備考
給水タンク の精製水	補充	使用方法により適宜	<p>使用量は、ガス発生量・使用環境・使用頻度により異なりますが、精製水タンク満杯(2500mL)から、水素発生量2000mL/分の連続使用で約11時間の吸入を行えます。</p> <p>電解槽が正常に作動するためには、最低でも1,300mL程度の精製水が必要です。これより下回ると、表示画面に「水量不足」ランプが点灯しますので補充してください。</p> <p>給水後、エラー状態をリセットするため、「スタート/一時停止」ボタンを3秒間長押ししてください。</p>
	交換	2週間	毎日のお手入れは不要ですが、長期間(2週間以上)空いてから再度使用する場合は、中の精製水を一度捨ててからご使用ください。
ガス生成 確認窓 の精製水	交換	2週間	<p>ガス生成確認窓はガスの温度・湿度を調整するために使用されています。水位を「MAX」と「MIN」ラインの間に保つよう、精製水を補充または排出してください。</p> <p>また、使用頻度に関わらず、2週間ごとに新しい精製水に交換ください。</p>
チューブ類	交換	1~2か月	チューブ類(ノーズチューブ、酸素水素混合管、連結チューブ)は、衛生上、1~2か月ごとに交換ください。使用頻度が高い方は、1か月での交換をお勧めします。
電解槽	交換	6000時間	<p>電解槽使用寿命を超えると、水素生成量が著しく低下がします。</p> <p>→販売店へご連絡ください。</p>
フィルター	交換	6000時間	本機の精製水フィルターは内蔵式です。電解槽交換のタイミングで一緒に交換をお勧めします。

8 お手入れ方法

チューブ類

- チューブ類(ノーズチューブ、酸素水素混合管、連結チューブ)は、衛生上、チューブ内に水滴が溜まつたままにしないことが望ましいです。ポンプや電動式エアダスターで空気を吹いてチューブ内の水滴を飛ばすか、軽く振って飛ばしてください。(缶タイプのエアダスターにはジメチルエーテルが含まれていることが多いので、薬品の影響が気になりますから避けてください)。
- 日の当たらない場所にかけて自然乾燥だけでも充分な場合もあります。
- ノーズチューブの鼻に直接触れる部分は、汚れが付きやすいので、こまめに水洗いしてください。

給水タンク

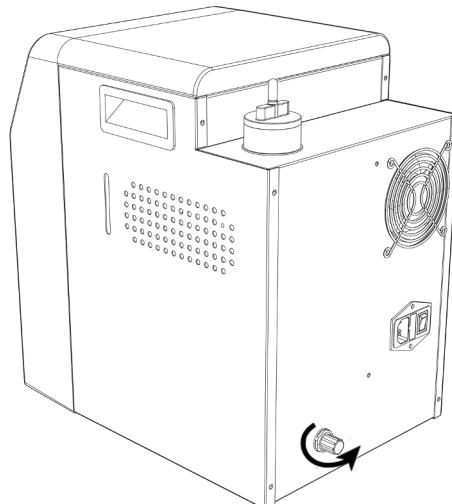
毎日のお手入れは不要ですが、長期間(2週間以上)空いてから再度使用する場合は、中の精製水を一度捨ててからご使用ください。

注意!

- 運転直後、給水タンク内の精製水は高温のため、排水は必ず運転停止後30分以上たってから行ってください。
- 洗面所、浴室など排水しても問題がない場所で行ってください。
- 本体を落とさないようにご注意ください。
- 排水キャップを取ると水が勢いよく流れ出るため、排水キャップを紛失しないようにご注意ください。

■ 排水の方法

本体裏面にある排水口のキャップを反時計回りに緩めます。



9 こんなときは

エラー点灯	問題	解決方法
温度異常	過熱(オーバーヒート)です。	運転を停止し、本体温度が自然に下がるをお待ちください。 本体の周りがふさがっていないかを確認し、換気の良い場所でご使用ください。
圧力異常	水素ガス吐出時に強い圧力がかっています	水素生成確認窓に水が溜まっていないか、またはノーズチューブ内に結露による水滴が溜まっていないか確認し、取り除いてください。
水量不足	給水タンク内の精製水が不足しています。 (電解槽が正常に作動するためには、最低でも1,300mL程度の精製水が必要です。)	給水タンクに精製水を給水してください。給水後、エラー状態をリセットするため、「スタート/一時停止」ボタンを3秒間長押ししてください。
バランス	傾斜等により、本体のバランスが崩れています。	安定した平らな場所に設置し直してください。
水質異常	給水タンクに精製水以外の液体を充填した、または長時間連続で同じ精製水を使用しています。	新しい精製水と交換してください。
問題		解決方法
ノーズチューブから水素が出ていない、または量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノーズチューブ、ガス生成確認窓がしっかりと接続されているかご確認ください。 ■ 電解槽使用寿命に達している場合にも水素の発生量が低下します。販売店へご連絡ください。 	
ノーズチューブから酸素が出っていない、または量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノーズチューブ、ガス生成確認窓がしっかりと接続されているかご確認ください。 ■ 酸素が逃げないように、「精製水給水口」のフタをしっかりと閉めてください。 	
電源が切れない	電源を切る、または電源ケーブルを抜いた直後は、十数秒間本機が点灯を続けますが、故障ではありません。	

10 仕様

水素純度	>99.995%
水素発生量	2000mL ± 10% /分
酸素発生量	1000mL ± 10% /分
定格	AC100-240V 50/60Hz 最大700W
外形寸法	W252X D372 X H380 mm
製品重量	約11 kg
安全装置	高温防止/高圧防止/精製水不足時自動停止/転倒時自動停止/精製水不純物自動センサー
使用できる水	精製水(日本薬局方の表示があるもの)
製造国	日本

お問い合わせ

商品についてのお問い合わせ、アフターサービス(メンテナンス)、各種消耗品のご注文などにつきましては、お買い求めいただいた販売店にご連絡ください。

発行年月日 : 2025年09月09日

発行・製造元 : 株式会社 CNB医薬研究所

<https://aquarietta.jp>

本書の一部または全部を無断で転載または複製しないようお願いいたします。
本書の内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。